

教職大学院 NEWS



三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻

第11号 H30.7月発行

教職大学院において、三重県教育委員会の「教職2～3年次研修講座」を実施しました!

6月15日（金）の午後、三重大学教職大学院のレクチャールームにおいて、三重県教育委員会の教職2～3年次教員のための授業力アップ研修『授業を通して、教師の専門性を開発する』が行われました。本研修講座を、三重大学教職大学院の笹屋孝允特任講師が担当しました。受講者からは、「映像記録を撮り、比べて見ることの大切さを知った。」「授業を見るポイントや検討の仕方がよくわかった。」「授業の映像記録、早速実践してみます。」等の声が聞かれました。



この講座は三重県教育委員会との連携事業の一環で実施されるもので、教職2～3年目の教員を対象としています。本講座は、教員としての資質向上に欠かせない「授業研究の方法」の習得を目的としました。教職大学院の院生（希望者）も一緒に参加させていただきました。

私が小中学校に研究授業の助言者として訪問する際、よく「授業の見方がわからない」、「記録をとっても、その活用方法がわからない」、「事後協議会で何を話したらよいかわからない」という疑問を先生方からお聞きます。その疑問をヒントに、記録を活用しながら授業研究をどのように深めたらよいのか、実際の授業の映像を見ながら受講者に体験してもらいました。

講座ではまず、授業の見方についての紹介をしました。授業で見るべきポイントの1つは「子どもの成長」です。しかし、2時点間の比較が必要なため、成長を見ることは難しいです。そこで、ある小学校の、同じクラスの6月と2月の授業を見比べて、子どもの成長ぶりを考えてみました。受講者でグループを組んでその結果を共有してみたところ、どの子どもも意欲的に授業に参加するようになった、教師の指示を待たずに学習を進められるようになった、など活発に意見が出されました。記録を活用して子どもの成長を見ることの大切さを、受講生に体感していただけたように思います。

続いて、観点を絞って、再度2つの授業を見比べました。観点は仮に、その小学校の研究主題の1つとされていた「グループ学習場面の子どもの話し合い方」としました。すると、話し合っている内容が具体的になった、グループ内の意見を比べながら聞いている、などの意見が受講生から出されました。研究授業の事後協議会は研究主題に迫る話し合いの場ですが、そこで観点を絞って話し合うことの意義や成果について実感していただけたようです。授業研究の方法について実際に受講生に体験していただくことで、その意義や可能性について私も改めて考えさせられた講座となりました。本講座が、受講生の教員としてのさらなる成長のきっかけとなるよう願っております。（担当：笹屋孝允）

三重県の学校や地域の教育に貢献する教職大学院をめざします!

三重大学教職大学院は、先の記事で紹介させていただきましたように、三重県教育委員会と連携し、「初任者研修の校外研修の個別研修の選択講座」の講師や、「初任者研修・教職6年次研修・教職経験11年次研修の授業実践研修」の助言者を派遣するなど、教員の資質向上に資するよう取組を進めているところです。また、教職大学院の専任教員が、その専門性を生かし、学校や地域からの要請に応じて様々な支援を行うことで、学校や地域の教育力の向上の一助になればと考えています。

【専任教員への講師依頼等について】

三重大学教職大学院の専任教員の専門分野等の一覧表をお示しします。ご相談等は、一覧表の各専任教員までメールでお願いします。

専任教員名	主な専門分野	支援内容
天野 智裕 (准教授) amanot01@edu.mie-u.ac.jp	学校経営 授業UD 若手教員育成支援	・ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくり・学級づくり(授業のユニバーサルデザイン入門講座等) ・学級経営に困難を抱える教員の支援、若手教員育成支援
市川 則文 (特任教授) nichire@edu.mie-u.ac.jp	教育方法、指導 学校経営、授業づくり等	小中学校の授業づくり、学級づくり等へのアドバイス (特に、社会科、生活科、総合的な学習、道徳など)
織田 泰幸 (准教授) oday@edu.mie-u.ac.jp	教育経営学 学校組織論	・学校の組織力を高めるための基本的な考え方の講座 ・学校管理職や教師のリーダーシップについての講座 ・チームとしての学校についての講座
笹屋 孝允 (特任講師) tsasaya@edu.mie-u.ac.jp	教師教育 授業研究 学級経営	・校内研修、研究授業の支援 ・対話的、協同的な学習を中心とした授業づくりの提案
須曾野 仁志 (教授) susono@edu.mie-u.ac.jp	教育工(夫)学 インストラクショナル デザイン 国際理解交流教育	・アクティブラーニングや通常授業でのICT学習利用 ・学習者によるプレゼン・デジタルストーリーテリング ・反転学習や遠隔学習の支援・英語や様々な言語での国際交流支援
瀬戸 健一 (教授) setoken@edu.mie-u.ac.jp	生徒指導	教師研修:例「生徒指導の実践モデル作成」から学ぶ教師の省察力(教師の指導実践やあり方の振り返り)、教師同士の協働性発揮プロセスなど。
園部 友里恵 (特任講師) sonobe@edu.mie-u.ac.jp	教育方法学 表現教育 演劇/ドラマ教育	・協働性、身体性などを重視した授業づくりの検討 ・コミュニケーション、チームワーク、創造性などをテーマとしたワークショップの実施
田邊 正明 (特任教授) tanabe@edu.mie-u.ac.jp	不登校児童生徒支援 生徒指導、特別支援 教育、子育て支援	・カウンセリング技法等を利用した子育てや不登校児童生徒の支援 ・LDやADHD等の発達障害児の理解啓発及び支援 ・生徒指導や特別支援教育を大切にされた学校経営の在り方
飛岡 美穂 (准教授) tobioka@edu.mie-u.ac.jp	授業づくり 校内研修支援	・主体的・対話的で深い学びの視点をふまえた授業づくり・授業改善へのアドバイス ・授業改善に向けた校内研修の活性化支援
森脇 健夫 (教授) moriwaki@edu.mie-u.ac.jp	授業研究、教師の資 質・力量研究 教師のライフヒストリ ー研究	学力を育てる授業研究 授業づくりの7つのポイント(活用型授業とユニバーサルデザイン) 全国学力学習状況調査の分析

第2回三重大学教職大学院公開講座 (参加費無料・定員40名)

○日時: 8月18日(土) 13:00~16:00 ○場所: 三重大学教育学部1号館2F地域連携B室

○講演 ①水谷 顕子「イスタンブールの日本人学校の2年間」

②杉澤 学「奈良女子大学附属小学校におけるしごと学習—ツバメにとって人間は敵か味方か、それとも…」

*申し込み・問い合わせ先: moriwaki@edu.mie-u.ac.jp (森脇健夫)

編集・発行 三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻(教職大学院) 広報担当

☎ 059-231-9319 (学務担当)

〒 514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

URL <http://mkd.edu.mie-u.ac.jp> (教職大学院専用HP)

✉ info-mkd@edu.mie-u.ac.jp